

フットサル・スケボーの施設 公園に整備を

田村正秋 議員

質問 最近公園でフットサルやミニサッカーをしている人が増加しているのですが、ゴールを設置していただけないか。またスケートボードの専用レーンを設置していただけないか。

市長 フットサルは激しい動きのスポーツで、他の利用者の安全性の面からゴールの設置は難しいが、武蔵野台テニスコートの改修に合わせて検討してみたい。またスケートボードは危険を伴うスポーツで、事故の対応や付近住民への騒音問題など

から設置は難しいが、関係部署での調整会議で検討を進めており、その結果を見ていきたい。

▼サッカーを楽しむ子どもたち



行政改革大綱 数値目標の明記を

前田正蔵 議員

質問 第4次行政改革大綱は数値目標が見えず、文章だけの改革となっており、事業内容に数値目標を提示し、監督責任を明確にし、職員が一体となって取組むことにより効率的な行政改革となると思うがどうか。

市長 第3次行政改革大綱への御意見や国の指針を参考に明確な数値目標の設定、市民にわかりやすい行政の自立的規範として策定したもので、経常収支比率を26市平均まで下げることで、経常的な財政規模を1

90億円とすること、職員を395人以下とすることの三つの数値目標を掲げて推進することとしている。

▼第4次福生市行政改革大綱



病後児保育 早期実現を

高橋章夫 議員

質問 共稼ぎしながら子育てをしている多くの家庭から、安心して仕事ができるよう、市内に、病気の回復期に病後児を預かる施設や、医師の診断書がなければ通園できない場合に預かっていただける等の保育施設の要望が強い。早期実現をすべしと思うがどう考えるかお聞きしたい。

市長 以前にも同様の質問をいただいて答えているが、方法は保育施設併設型で進める方向で考え、既に福生市保育協議会へ実施依頼をした

ところ取り組んでいただける保育園があり、平成20年度中の実現を目指していきたい。

▼市立福生保育園全景



商店街振興策 先進的な取り組みは

青海俊伯 議員

質問 江東区の砂町銀商店街を視察したが、一体感があり、同業者が軒を連ねていてもそれぞれが特徴を持ち、とにかく賑わいのある商店街という印象で、福生市とは地域や個性が違うが、先進的な商店街を目指しての視察や取り組みの考えはあるのか伺いたい。

市長 東京都や中小企業振興公社等が発行する冊子や参考になる事例は、商栄会等連絡協議会等を通じて積極的に情報提供をしていきたい。

生活環境部長 担当課職員が先進的な商店街を視察しており、今後検討する中で生かしていきたい。

▼商店街まつりのお囃子



地域包括支援センター その進捗状況は

中森富久 議員

質問 平成18年4月に改正された介護保険制度では、尊厳を支える高齢者ケア、地域ケアのトータルマネジメント等予防的な取り組みを目的に地域包括支援センターが創設されたが、進捗状況を伺いたい。

市長 保健師、社会福祉士、主任ケアマネージャー、3人の専門職を配置し事業を進めており、7か月間の業務実績は介護予防マネジメントで512件、総合相談事業が331件、包括的・継続的マネジメントが46件、

虐待防止等の権利擁護が33件で、介護予防マネージメントで若干課題もあるが、概ね順調に進んでいる。

▼リハビリ体操をする高齢者



航空総隊司令部 横田移駐の進行状況は

遠藤洋一 議員

質問 基地対策特別委員会や我々議員には面積や概算要求などの情報が入ってきたが、市は正式な情報を持っているのか。

市長 日米の担当者レベルで在日米軍及び第5空軍司令部庁舎の近くの駐車場に建設することで了解され、今後日米合同委員会で合意を得て本年度中に測量や地質調査を行うが、11月30日現在ではまだ合同委員会の承認は出ていない。内容は庁舎設計、建設費等で約150億円、敷地

面積は約2万平米、建物の規模は未定で、現在は上下水道や電気等の取り扱いを協議している。

▼府中基地正面入口



「農」への思い その取り組みは

大野悦子 議員

質問 後継者や高齢化等困難な状況の当市の「農」の現状をどう思うか。農地ウォークの今後と公園緑地の整備計画の考えは。また、市営プール横の花壇はアンケートをとってどう検討したのか伺いたい。

市長 営農環境の悪化で農業の存在感が低下し、農業者は危機感があると思うが、農業者と地域住民との協働を生み出す農地ウォークは大変よい試みであると思う。また、公園緑地整備は公園ボランティアの活動拡

大の中で進め、花いっぱい運動は協力団体のアンケートを参考に19年度中には検討していきたい。

▼昨年11月に実施された農地ウォーク



福生駅周辺の環境 ポイ捨て対策は

今林昌茂 議員

質問 たばこのポイ捨てやハトのふん、ごみは近所の方やボランティアが掃除してくれているが、ポイ捨てが一向に減らない。駅周辺環境の現状と対策を伺いたい。

市長 シルバー人材センターに委託して週6回清掃しており、美観は保たれているが、たばこのポイ捨ては「オール東京市町村喫煙マナーアップキャンペーン」によりマナー向上を呼びかけ、またハトのふんは「福生ハトえさやりストップキャンペー

ン市民の会」が中心に働きかけており、今後とも市民と協働でまちの環境美化を推進していきたい。

▼なくならないポイ捨て(福生駅東口付近)

